

令和7年度の重点課題

【情意面での課題】

○男子において、運動やスポーツをすることはやや嫌い、嫌いと答えた児童が約27%いた。全国平均値などの数値を下回っている児童は、運動やスポーツに対して苦手意識をもつ傾向にある。

【体力面での課題】

○男子において、体力合計点は全ての項目で、県平均値と全国平均値（令和6年度）を下回っている。特に、「握力」「長座体前屈」「立ち幅跳び」は大きく下回った。

○男女とも「上体起こし」は県平均値かつ全国平均値を下回っている。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○体育の授業においてゲーム性の高いウォーミングアップ運動を行った。（体じゃんけん、背中タッチ、マネっころニングなど）。

○体づくりの運動では、長縄（8の字とび）を行い、跳躍力を高める取り組みを全校で行った。

○児童が運動の意識を高めるよう、体作りに関する掲示物を作成し、校内に掲示した。

○児童会執行部や体育委員会が主体となり、全校遊びを企画・実施した。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値（令和7年度）・全国平均値（令和7年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	19.1	18.5	34.5	41.1	53.3	9.6	152.8	23.7	54.4	第5学年	16.1	15.5	37.3	34.7	29.1	11.7	131.4	11.4	47.9

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値（令和8年度）・全国平均値（令和7年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値（R8）を記入し、比較を行います。																		

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	46.15	30.77	15.38	7.69	第5学年	41.67	41.67	16.67	0.00

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○上体起こしや50m走につながる体幹を鍛えるための運動として、仰向けから素早く起き上がり、短い距離をダッシュする活動をゲーム性を持たせて準備運動等で行う。

○コーディネーション運動を工夫して取り組むために、教員同士で交流の場を増やす。

体育の授業以外で行う取組内容

○ロング昼休憩を活用し、児童会が主体となり全校遊びをする機会を作る。

○体幹を鍛えることに効果が期待できそうなポーズ（イラスト）を校内に掲示し、児童の日常的な体力向上に努める。

重点課題

情意面での課題

○「運動が好き」と捉えている児童が男子46.5%女子41.6%と半数を下回っている。「やや好き」と捉えている児童も含めると全体の約80%が肯定的回答をしているが、運動への関心が薄れ、デジタルな娯楽への興味が強くなっている傾向があるのではないかと考える。日常的に児童からスクリーンタイムに関する話をよく耳にすることや、児童自身のスマートフォン所持率が57.7%であることから原因として考えられる。

体力面での課題

○上体起こし、50m走は、男女共に全国平均に届いていない。○女子においては握力以外の項目で全国平均を下回っている。その結果、体力合計点も全国平均を大きく下回っている。

令和9年度の
重点目標値

○「運動が好き（「やや好き」を除く）」と答える児童を半数以上、運動することに肯定的な児童を9割以上にする。

○「上体起こし」を前回の学年平均値を上回るようにする。

○女子児童の全国平均値以上の項目が半数を上回るようにする。